

2024年度 JDC西部総局昇降級規定 及びポイント調整

◎ 昇級

B級 →	A級 (B級B : 5組、L : 1組) 各6大会	
	ボールルーム : 35点	(30点獲得で特典考慮)
	ラテン : 30点	(25点獲得で特典考慮)
C級 →	B級 (C級B : 4組、L : 2組) 各6大会	
	ボールルーム : 5点	(3点獲得で特典考慮)
	ラテン : 20点	(15点獲得で特典考慮)
D級 →	C級 (D級B : 2組、L : 2組) 各6大会	
	ボールルーム : 2点	(1点獲得で特典考慮)
	ラテン : 8点	(5点獲得で特典考慮)

《注意》 1位 : 10点、2位 : 8点、3位 : 6点、4位 : 4点、5位 : 2点、6位 : 1点、7位以下の入賞 : 0.5点
5組以下出場の場合は最下位を6位とみなし順次点数を繰り上げる。
オープン戦はA級、ライジング戦はB級、C級、D級を対象とする。選手権はA~Dまで全級対象。
アジアオープン・JDC全日本に対して出場ポイント(1点)並びに出場回数(1回)の特典を与える(1大会のみ)。ポイント及び回数の加算は、複数部門出場(クローズ、ライジング含む)しても各大会1とする。
西部選手権は各級ごとの順位に応じてポイントを付与する。決勝に残った場合は、自己級ポイント又は決勝のポイントの高い方のみを付与する。
他総局競技会成績は特典考慮対象者のみ参考資料とされる。
不成立1大会につき、昇級ポイントは減算される。減算ポイントは状況に応じてその都度決定される。
競技会回数が増えた場合昇級ポイントは加算される。加算ポイントは状況に応じてその都度決定される。
出場回数が規定に満たない場合は昇級不可とする。ただし年度途中入会選手は別とする。
5組以下の大会が複数回行われたセクションは、昇降級判定会議で優勝回数などを参考資料とし措置を検討する。

◎ 降級

A級 →	B級 (A級B : 10組、L : 5組) 各6大会	
	ボールルーム : 3回以上の出場、且つ1回以上の決勝進出又は3回以上の準決勝進出を 満たせなかった選手	
	ラテン : 3回以上の出場、且つ1回以上の決勝進出を満たせなかった選手	
B級 →	C級	
	ボールルーム : 3回以上の出場、且つ2回以上の決勝進出を満たせなかった選手	
	ラテン : 3回以上の出場、且つ2回以上の決勝進出を満たせなかった選手	
C級 →	D級	
	ボールルーム : 3回以上の出場	
	ラテン : 3回以上の出場	

《注 意》 年度途中入会選手には降級は適用しない。
ボールルーム・ラテンのどちらか一方しか出場できない大会では、出場不可のセクションを出場回数に加算する。
海外研修(短期間)、海外留学(長期間)、出産、疾病、怪我、事故などは届の提出により審議対象とする(期間を明記した届出書を11月末日までにWJPCを通じて昇降級管理委員長宛てに提出する)。

《jpとの交流戦について》

西部総局が主管する競技会と同等の競技会と位置づけ、昇降級の対象とする。
決勝進出による得点は加算される。オープン戦はA級、ライジングスター戦はB級、C級、D級を対象とする。

* 上記記載組数は2024年2月時点におけるWJPC提出の資料に基づく。